

# 米原市のシティセールスがはじまります ～「米原市シティセールスプラン」を策定しました～

## シティセールスって何？

現在、地方から都会への若者の流出と、子どもの減少、定住人口の維持が全国的な課題となっていますが、この問題は誕生から10年を迎える米原市も同様です。

そこで市では、まちの総合的な魅力を高め、その魅力を戦略的に発信するため、昨年6月から「米原市シティセールスプラン」の策定に取り組んできました。

## プランはどのように作られたの？

いきなりですが、

**米原市のステキ♥何ですか？**

このプランを策定するにあたり、市民のみなさんへアンケート調査や座談会（子育て中のママ・パパ、地元高校生など）のほか、インターネットを使った県外住民（近畿、東海、北陸、東京）への調査など、合計2254人にご協力いただきました。

このプランを策定するため、市では「米原市ステキ調査」を実施し、市内外から見た米原市ならではの特徴を探る取組を進めてきました。

市民のみなさんへのアンケート調査や座談会（子育て中のママ・パパ、地元高校生など）のほか、インターネットを使った県外住民（近畿、東海、北陸、東京）への調査など、合計2254人にご協力いただきました。

## シティセールスで何を指すの？

- 今、米原市に暮らす人々に、**未来にわたり住み続けてもらうこと**
- 将来、地方で暮らしたいと考えている人々に、**米原市を選び、移り住んでもらうこと**
- 全国の自治体の中でステきなまちとして評価され、**米原市ならではの豊かさをもたらすこと**

## プランはどんな内容？

米原市ステキ調査の結果から、米原市の「豊かな自然」、中でも「伊吹山」と「琵琶湖」が市内外問わず高く評価されていることが分かりました。伊吹山からはじまる水が琵琶湖をつくり、たくさんの人の生活を支えている。そのような米原市の自然を「**びわ湖の素（もと）**」に例え、これをコンセプトとしたまちの「雰囲気を作り」、「人気を集め」、米原市に暮らすことの「満足度を高める」ための方針をプランとしてまとめました。（詳しくは、市公式ウェブサイトをご覧ください）

誕生から10年を迎える米原市は「**びわ湖の素 米原**」をコンセプトとした総合的なプロモーションを展開していきます。



お問い合わせ 政策推進部 みらい創生課（米原庁舎） ☎ 52-6784 ☎ 52-5195

私たちのかけがえないまち米原市。米原市は、滋賀県最高峰の伊吹山から琵琶湖へと里山田園風景が広がり、古来引き継がれた美しい自然や文化・伝統が生き続ける「水源の里」です。米原市は、日本のほぼ中央に位置し、国土軸をなす道路、鉄道が結節する、どこに行くにも、どこから訪れていただくにも利便性に富んだまちです。米原市は、からだいっぱい四季を感じ、都会にはない魅力的な暮らしと子育てを楽しむことができるまちでもあります。

そのすべては、日本百名山・伊吹山とこれに連なる山々がもたらす豊かな自然と歴史により育まれてきました。森羅万象。山の頂から里に降り積った雪は、やがて私たちの命と暮らしを支える水となり、母なる琵琶湖へと注がれます。

このような米原市を、私たちは「びわ湖の素（もと）米原」と表現することとしました。そして、この「米原市シティセールスプラン」は、「びわ湖の素 米原」をコンセプトとしたまちの「雰囲気を作り」、「人気を集め」、米原市に暮らすことの「満足度を高める」ための方針をまとめたものです。

人口減少と高齢化の波は、確実に訪れています。希望を求めて都会で就職する若者たち。年々少なくなる子どもたち。

平成27年度は米原市の誕生から10年目に当たるとともに、人口減少に立ち向かう「まち・ひと・しごと米原創生元年」でもあります。私たちは、人口が減少するという現実をただ受け入れるのではなく、世界に誇れる「びわ湖の素 米原」として、本市ならではの豊かさを追求する中で、持続するまちの魅力を高めてまいります。そして、市民のみなさんには、住み続けたいまちとして、市外の方には、訪れてみたいまち、住んでみたいまち「米原市」としての評価を得ることにより、米原市のみらい創生を実現してまいります。

「これからも びわ湖の素 米原 だから」

ヒトが生きているにはココチよい

米原市長 平尾道隆

ビトが生きるには  
ココチよい。



*dakara*

生まれたときから伊吹山があった。  
ただものではない雪がつもる。  
できたての水がこんこんと湧く。  
からだもよろこぶ四季がめぐる。  
恋したくなるほどステキな〇〇が育つ。  
山から里から湖からの道が結ばれ、つながる人々。  
あの人もこの人もこの道を通り日本のモトを育てた。

びわ湖の素 米原  
だから  
ビトが生きるにはココチよい。



米原市の  
シティセールスが  
はじまる。

まいばら

2015. 6/1

編集・発行／米原市役所 広報秘書課  
〒521-0800 滋賀県米原市下き原三丁目3番地  
☎0749(06)6667 / FAX0749(05)5195  
Eメール koho@city.maibara.lg.jp  
ウェブサイト http://www.city.maibara.lg.jp/

発行日  
平成27年5月28日

再生紙を使用しています。  
 植物油インキで印刷しています。

この市政情報誌「まいばら」は13,400部作成し、1部あたりの単価は25円です。(1円未満切り捨て) ※職員の人件費は含まれていません。